

〈インターンシップ報告〉

◎研修を終えて



堀江典子 (19歳) 調布市

初日に研修用の平面詳細図を見たときは、正直こんなに細かい図面を自分がCADでおこなうことが出来るのかと、とても不安でした。しかし、2日、3日と作業をしていくにつれ、細かい図面にも目が慣れてきて、大体の輪郭は自力で描くことが出来るようになっていました。たった4日間という短い期間でしたが、研修前と研修後とでは比べものにならないくらい力が付いたという事を実感しました。また、学校で扱う図面と実際に設計会社で作られる図面では、かなりの違いがあるということに学生の内に気付いて本当

に良かったと思いました。今回の研修で、自分には足りないものがたくさんあることを再認識出来たので、残りの学生生活の中で出来るだけ多くのことを吸収していきたいと思いました。初めてのインターンシップでしたが、社員の皆さんが自然に接してくれたので、あまり緊張せずにいることが出来ました。忙しい合間をぬってCADの操作方法を教えてくださったこと、とても感謝しています。今回教わったことは、今後の課題などに生かしていきます。本当にありがとうございました。



長谷川恭子 (24歳) 杉並区

インターンシップを通し、設計図と施工図の違いや書き方などを学んだ。学校で見慣れているものとは異なり、実務に直結するものなので、複雑な図面ばかりで不安もあったが将来への意欲もわいた。身の回りに建築設計に関わる人も少なく、設計事務所がどのような一日を送るのかもあまり想像がつかなかった。平面詳細図をおこなうのは、まだまだ仕事としては入り口にしかないのだが、それさえも悪戦苦闘で、なかなか進まなかった。基本的な操作は学校でやっていることとあまり変わらないが、大きく異なるのは、

要領の良さを身に付け、正確に早く仕事をこなすことであると、身をもって実感した。また、仕事でもそれ以外でも、自ら進んで物事に取り組まなければ、得られるものの深さが違うのだと改めて感じた。与えられたものをこなして行くのでは無く、それを改善したり工夫をしたりするという自発的な行動力を身に付けることである。今回の研修を通し、これまでより仕事への印象がもっと身近になり更に視野を広げることができた。